

あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業・地区別授業研修について

平成30年10月23日（火）

本校は本年度より五年間、再度「あいちスーパーイングリッシュハブスクール」に指定されました。その一環として、10月23日（火）に津島市内の小中学校の先生方と、尾西地区の県立学校の英語を担当している先生方で、合同の「地区別授業研修」を行いました。

当日は、津島市教育委員会指導主事の太田智之先生にもお越しいただきました。また、小中高の英語教育の連携に造詣が深い、愛知県立大学の池田周先生に御講演いただきました。

会の最初に本校の犬飼謙司教諭による英語の授業実践を参観しました。生徒達はいつもよりやや堅かったようですが、徐々にいつものペースをつかみ、落ち着いて授業に集中していました。

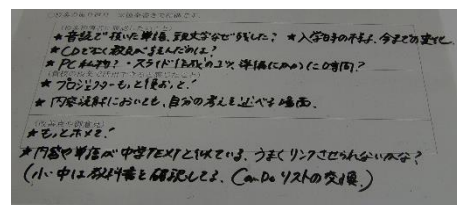
その後、興学館に移動し、授業参観の振り返りをグループで行いました。授業の指導者に対して、多くの御意見や質問をいただきました。



質問例：「ICT 機器の使用頻度は？」

「国際理解コース以外の授業はどういう雰囲気なのか？」

「先生の授業の準備にどれくらい時間を掛けるか？」



最後に、講師の池田先生から御指導いただきました。先生からは小中学校間では教科書の情報を共有できているが、高校の先生は小中学校の教科書について情報共有できているかという問いかけがありました。また、新しい小学校の英語指導書について、その作成のねらいをお伝えいただきました。

これからも地域の小中学校と高等学校が連携し、つながりある指導を実感できる英語教育が実践できるようにしたいと、強く感じられた研修となりました。

